

**みやぎNPO夢ファンド(A) 組織開発(人材育成を含む) 支援プログラム
平成20年度助成事業 最終報告書**

書式4

21 年 4 月 28 日

| | |
|---|---|
| 団体名 | 国際交流ボランティアグループ ともだち in 名取 |
| 事業名 | 士気向上！研修事業 『士気向上！日本語講師のための勉強会』 |
| 連絡担当者お名前（ふりがな） | 事務局長 <small>わかやま</small> 若山 <small>ようこ</small> 陽子 |
| 助成事業の内容： | |
| 第1回：6月9日 | 日本語講師の仕事とは何ぞや？ |
| 第2回：7月28日 | 形容詞 |
| 第3回：9月22日 | 教え方のこつ |
| 第4回：10月27日 | 助動詞 |
| 第5回：11月10日 | 動詞 その1 |
| 第6回：12月8日 | 動詞 その2 |
| 第7回：1月26日 | 副詞 |
| 第8回：2月23日 | 接続詞 |
| 上記の内容で8回にわたり、日本語講座講師の第一人者である氏家洋子先生に勉強会を開いていただき、毎回、延長をして熱心な指導をしていただきました。 | |
| その後も、折に触れ、ご指導を頂き今年度も、9月19日にワークショップの予定を入れていただくほどの関係を築くことができました。 | |
| ※ 詳細は別紙【夢ファンド報告】 | |
| 「みやぎNPO夢ファンド助成事業」 『士気向上！日本語講師のための勉強会』 をご参照ください。 | |

当初の成果目標はどの程度達成できましたか。当初目標と比較して記入してください。

● 申請書に記載した成果目標

- ①1年間定期的に質の高い研修をし、講師の質を高め定着を図る。
- ②外部の方が入ることで、質も高まり、本音での深い実のある話し合いをする。
- ③適切なアドバイスを受ける。
- ④仕事をしようかと迷う若い人への動機付けをする。
- ⑤共通認識を増やし、孤独感を解消し信頼を深める。
- ⑥折角の機会なので、外部にも知らせ、外部の方にも研修を受けてもらい、活発に情報交換をする。目標は15名の受講生獲得。

● 目標の達成度・団体に与えた効果

- ①集まり勉強することが苦にならなくなった。日頃それぞれが確認したかった問題の答えが見つかり質の向上・新たな意欲も湧き実り多き研修となった。
- ②経験豊かな日本語講師である氏家先生の誘導で、本音を自然に出せ、互いの考え方を聞くことができ、さらに、今後の方針を一緒に模索できた。日本語講座の運営について、とても積極的になり、海外出身者の楽しめる新たなイベントを企画実施したことが示すように、受講者に熱意を感じた。
- ③悩んでいることを共有し、仲間意識が湧いた。相互に適切なアドバイスを受け自信と意欲煮に繋がった。
- ④日本語講座の必要性、喜ばれ感謝されることであることの再確認もでき、さらに勉強し継続をしたいという声が上がった。
- ⑤Tea time を設けたことにより、とても話しやすく、話題が広がり、それぞれの経験を間接的に共有して想像以上の研修効果が得られ互いの信頼が高まった。
- ⑥個人負担金は800円だったので、仕事を休んででも参加しやすく、いつも時間に追われている人々も参加。8回にわたり充実した学習が出来、他団体からも参加者があり、刺激となった。外部からの受講後会員になり、日本語講師増員へと繋がった。26名の受講者があった。

●達成できない部分があった場合には、

考えられる原因や、解決に向けて必要なこととお書きください。

途中、担当者が入院、後任者もまた体調不良となり、ボランティアのみの会の事務処理能力の弱さを痛感しました。しかし、経済的に余裕のない移住者に無償で日本語講座を提供したい考えは変わらずに、大変ではあるが、意欲的に今後も取り組みたい。

そのような現状で報告書が遅れるなど、みやぎNPOセンターの方々に多大な迷惑をかけてしまいました。

この原因となる一番の問題点は、コンピューターがないこと。これまで、コンピューターを2台譲ってもらったが、現状は次の通りである。

①1台目のノートパソコンに様々なデータを入れて置いたが、ついにWXPに問題が起きて使えなくなった。バックアップしていないデータも多く、それぞれの自宅のパソコンに送信して残っていたデータを集めてなんとか過去の情報を補った。

②2台目のデスクトップのパソコンを会員の会社から持ってきてエンジニアの方が設置してくれてとてもよい状態になり速やかにブログに書き込めるようになったが、W95のために会で購入して使っていたプリンターと繋げない。それぞれの会員が自宅で作った文書やデータが相関性なく開くことが出来ない。それぞれの自宅のパソコンは新しくそこから送られる情報の中で、事務所にいて処理できることが限られた。

しかし、事務所の室料さえ3000円の会費から捻出しているため、パソコンを準備するのは夢のまた夢。Canonのプリンターと繋げるパソコンが事務所に欲しい。それがあれば、誰かが長期で休んでも、パソコンを開けば全ての状況が分かりほとんどのことは代理の人がその場で処理することが出来るであろう。現状では、それぞれが個々のノートパソコンを持って事務所に来て自分の仕事は処理するが、他の人がそれを操作したり、事務処理することが出来ない。このままでは同じことが起きるのではないかと危惧される。

だが、研修事業そのものは、予定した内容に対し100パーセントの満足感が残るものとなり、全ての皆さんに感謝している。

会員相互の理解が深まり、仲間意識が強くもたれるようになった。とても意欲的になり、質の低下を招かないよう、継続して勉強会をしたいというような意見が多く語られている。

★ 今回の事業を、今後、継続して勉強会を続けモチベーションをあげたまま保ちます。

★ その際に必要な人材は育ちつつあるが、人数は十分ではないので、会員の増加に努力を要する。しかし、外国人に日本語を教えたい人の8割は、英語を使いたい。教わりたい。と考えているのではないかと思うほど、21世紀なのに、未だに西洋を向いている人々が多く、実際はアジアの方々が中心である名取市での日本語講座としては、どのようにして増員するかが一番の課題である。

★ また、公的機関との協働も必要と感じる。

助成金の使途内訳

収入の部

| 項目 | 予算 (円) | 決算 (円) | 備考 |
|---------------------|---------|---------|------------|
| みやぎNPO夢ファンド助成金 | 200,000 | 200,000 | 小計 200,000 |
| 受講料@800×26名 | 12,000 | 20,800 | 小計 20,800 |
| 自己(当会)負担金 + ↓ | 53,000 | 26,002 | |
| ①講師謝恩会ホットラック@500×3名 | | 1,500 | |
| ②寄付金 氏家氏・中島氏 | | 10,000 | 小計 37,502 |
| 合計 | 265,000 | 258,302 | |

支出の部

| 項目 | 予算 (円) | 決算 (円) | 備考 |
|--------------|---------|---------|------------|
| 講師謝金 | 108,800 | 108,800 | |
| 講師交通費 | 16,000 | 16,000 | |
| 講師打ち合わせ | 27,200 | 27,200 | |
| 講師打ち合わせ交通費 | 4,000 | 4,000 | 小計 156,000 |
| 資料作成費 内訳↓ | 64,000 | | |
| ①作成・ブログ担当費 | | 25,000 | |
| ②資料作成実費 | | 3,640 | |
| ③託児料 | | 9,640 | |
| ④資料作成のための教材費 | | 27,405 | 小計 65,685 |
| 事務費 | 32,000 | 28,998 | 小計 28,998 |
| 人件費 内訳↓ | 13,000 | | |
| ①交通費・茶菓代・花代 | | 7,619 | 小計 7,619 |
| 合計 | 265,000 | 258,302 | |

※受講者 26名